



資料提供年月日	令和5年2月22日	
問い合わせ先	課名	産業政策課
	電話	直通 803-1342 内線 4514
担当者	職名・氏名	課長代理 二ノ宮 和人
	職名・氏名	係長 松田 将治

## 広 報 連 絡

### 1 件 名

ガブテック チャレンジ オカヤマ

「GovTech Challenge OKAYAMA 2022（先進技術社会実証支援事業）」の成果報告会を開催します。

### 2 事業の内容

市では「GovTech Challenge OKAYAMA」（※）において、産業や環境などの分野において社会実証を実施した5つの課題の成果報告会を開催します。詳細は別添チラシ、または下記アドレスをご確認ください。

<https://gco2022-demoday.peatix.com>

また、併せて成果報告会の参加者を募集しています。

（※）「GovTech Challenge OKAYAMA」とは、岡山市が抱える社会課題、行政課題について、最先端のテクノロジーや斬新なアイデアで課題の解決手法を提案するスタートアップを公募・選定し、岡山市職員と協働で社会実証を行うことで、課題解決とスタートアップの成長を目指す事業です。

### 3 開催日時及び場所

令和5年3月14日（火） 16時～

スタートアップ支援拠点「ももたろう・スタートアップカフェ」

（北区駅前町一丁目 イコットニコット2階 WonderWall）

### 4 申込について

#### （1）申込期間及び申込方法

令和5年3月13日（月）まで

下記アドレスからお申し込みください。

<https://gco2022-demoday.peatix.com>

#### （2）定員

・会場 30名

・オンライン 100名

## 5 社会実証した課題

別添チラシのとおり

## 6 その他

岡山市職員を対象とした成果報告会も以下のとおり開催いたします。報道機関の方もご参加いただけます。

- ・日時 令和5年3月14日（火） 13時～14時30分
- ・場所 岡山市役所本庁舎3階 第三会議室
- ・開催概要

13:00 開会

実証実験成果報告  
岡山市長挨拶・講評  
デモ展示・交流会

14:30 閉会



# GovTech Challenge OKAYAMA

## 成果報告会

2023. 3. 14 (tue)

リアル・オンラインの  
ハイブリッド開催！

スタートアップの成長支援とデジタル技術等を活用した社会・行政課題の解決を目的とした『GovTech Challenge OKAYAMA』では、2022年度に5つの実証実験を実施しました。実証にて活用したツール、実施した内容やその結果を発表する『成果報告会』を行います！

場  
所

ももたろう・スタートアップカフェ  
岡山市北区駅前町1-8-18 イコットニコット2F

申  
込

<https://gco2022-demoday.peatix.com>



タ  
イ  
ム  
ラ  
イ  
ン

16:00

開会

実証実験  
成果報告

パネル  
ディス  
カッション

交流会

17:30

閉会

# 実証実験一覧

## 文化芸術と市民の距離を縮めたい!

文化振興課×株式会社ARTEE

『文学×岡山』をテーマにしたWeb上でのイラストコンテストを初めて実施するなど、岡山市が行う文化芸術イベントへの参加者や関心層の拡大、クリエイター支援の在り方について検証しました。



## 町内会DX! 助成金申請の電子化で役員の負担軽減と持続可能な地域づくりを目指す!

南区役所総務・地域振興課×株式会社ほいらく

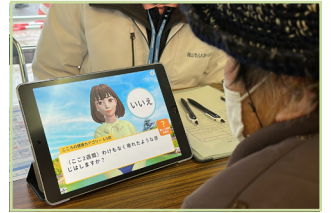
現在紙で行っている町内会の申請手続きをオンライン化するために、町内会の意見を取り入れて開発したオンライン申請システムの有効性や利便性を検証しました。



## 早めの対策でいつまでも健康に! フレイル健康チェックを広げたい!

地域包括ケア推進課×株式会社HYPER CUBE

現在紙で行っているフレイル健康チェックをタブレットでAIアバターが入力誘導し、結果をその場でフィードバックできるようにすることで、市民の受けやすさ向上と支援者の負担軽減に繋がるかを検証しました。



## 海ごみはどこからやってくる!? 上空からの画像の解析により河川流域をモニタリングしたい!

環境事業課×株式会社Solafune

航空写真データを元に、水面に浮かんだごみを自動検出するアルゴリズムの実証開発を行い、岡山市内の河川等のごみ溜まり（ホットスポット）をAIで検知するための精度検証を行いました。



## 目指すはまちの活性化! AIを使った通行量調査の有効性を検証したい!

産業振興・雇用推進課×Intelligence Design株式会社

これまで目視・手動で行われていた通行量調査をAIカメラによりリアルタイムで計測し、その精度を検証するとともに、新たに取得した属性などのデータの活用方法を商店街と共に検討しました。

